

地域密着型ふれあいハウス

ふらっと

昨年12月、緑苑にオープンしました!

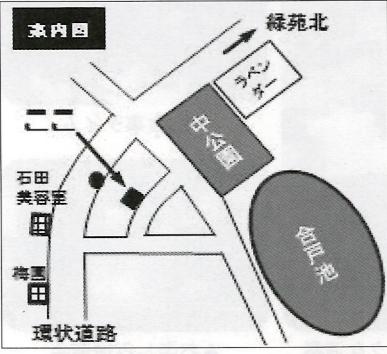


▲オープン記念イベント時の室内的様子

- ◆電話: 058-322-6579
- ◆住所: 緑苑中3の17
- ◆オープン時間
平日(土、日祝日以外)
午前10~12時、午後1時~3時



▲オープン記念式典でのテープカット



▲親子で遊ぶコーナーもあります

▲ふらっとの看板が目印です



いつでも気軽にお越しください
平日(10~12時・13~15時)

社協支部だより
第35号
平成26年3月15日
各務原市社会福祉協議会
発行 緑苑連合支部



おたっしゃ倶楽部 水谷 彰さん(91歳) 植田秀敏さん(90歳) ツナ子さん(86歳) ご夫婦



▲髪がよくお似合い

名古屋市内から緑苑中に移り、今日に至っています。6年前には奥様に先立たれお一人の生活が始まりました。現在は、中部学院大学で「すばらしい人間学」の講師として活躍され、5年間続けておられます。また企業や団体からは、月3~4回の講演依頼もあるという多忙な日々を過ごされています。4年前には3か月の世界一周船の旅に出られ、各国の宗教の勉強をされて昨日11月にはウイーンであつた宗教の世界大会にも参加されました。また毎週木曜10時から名古屋駅前で辻説法に櫛をかけて「みんな幸せになろう」とビラをくばられていました。健康の秘訣は栄養バランスの良い食事と、適度な運動で、健康の要素は心だそうです。感謝の言葉が一日何回言えるかです。どうか、いつまでも、かわらぬご活躍を!

(緑苑中 古田)

二組目は、西四丁目にお住まいの植田秀敏さん(90歳)・ツナ子さん(86歳ご夫婦をご紹介します。お二人とも九州・福岡で生まれ育ち、福岡・北九州の会社に勤められました。そこで社内結婚で結ばれま

した。その後、仙台に転勤し、数年間緑苑から離れていましたが、定年を期に緑苑に戻って来られたそうです。子供三人に恵まれ、それぞれ仙台・大阪に独立されています。秀敏さんは若いころは野球・相撲・バレーボールなどスポーツは万能特に相撲は学校対抗の大会に選手で出るほどの腕だったとか。今はテレビでのスポーツ観戦や、趣味のパソコンで年賀状などを作った味のパーソコンで年賀状を作った後、今一番の楽しみは週に一度のカラオケサークルに行って歌う事です。秀敏さんは若いころはバレーボールの選手として試合に出ていた程のツナ子さんは若いころはバレーボーラーで年ほど前体調を崩した為、楽んどいたみどり会も今は休止されています。秀敏さんは「人は正直でなくていい、間違った事は嫌い、お人よし」をモットーに生きて来られ、そのお顔にも穏やかさを感じる事が出来ました。

現在は娘さんと愛犬ハッピー(四才)の三人と一匹の暮らしが大切になりました。お二人とも九州・福岡で生まれ育ち寄つてみてください。また、楽しいイヴウスです。名前の由来は、「ふらつと行く?」「ふらつと寄る?」など、気軽に呼んで立ち寄つていただきたいことと、訪れた人はすべて「LAT」つまりいつでも誰とでも平たく接してほしいとの願いをこめています。

困りごとがあるけど些細なことなので頼みにくい、仲間を作りたい、話相手や相談相手がほしい、子育ての悩みを相談したい時など、常駐スタッフが丁寧に対応いたしますので、是非立ち寄つてみてください。また、楽しいイヴウスで多数用意して皆様をお待ちしております。

なお、本ハウスは緑苑グリンの事務局も兼ねていますので、合わせてお問い合わせください。

11/2 福祉座談会

地域見守り活動について

今回は、みどり会との共催で一部は健康体操、二部は消費者被害をテーマにした劇を実施しました。

最初は、歌や音楽に合わせて行う活脳、リズム体操など各所で健康体操の指導を行つておら

1/25 ふれあいぜんざい会

緑苑文化祭と同時開催

当日は春近しを思われるような暖かい日和となり、会場では正午から青空の下、15臼の餅つきを行いました。館内のテーブルや屋外のテントでは、つきたての餅を使つたせんざいを600人以上の方に振る舞い、楽しい団らんのひらごしていただきました。

▲よっこらしょと時を過ぎたときました。

10~11月 絵手紙訪問

高齢者の自宅へ絵手紙を

受け取られた皆さんに児童の可愛い作品を手に、日々に描いたお子さんによくお礼を伝えてください」と感謝の言葉を述べられました。

特に日ごろ訪問者の少ないお宅では、いろいろとよもやま話を花が咲き交流を図ることがで述べられました。各地域の近隣ケアグループ、自治会、民生委員の皆さんのお届けしました。

受け取られた皆さんに児童の可愛い作品を手に、日々に描いたお子さんによくお礼を伝えてください」と感謝の言葉を述べられました。特に日ごろ訪問者の少ないお宅では、いろいろとよもやま話を花が咲き交流を図ることがで述べられました。各地域の近隣ケアグループ、自治会、民生委員の皆さんのお届けしました。

受け取られた皆さんに児童の可愛い作品を手に、日々に描いたお子さんによくお礼を伝えてください」と感謝の言葉を述べられました。特に日ごろ訪問者の少ないお宅では、いろいろとよもやま話を花が咲き交流を図ることがで述べられました。各地域の近隣ケアグループ、自治会、民生委員の皆さんのお届けしました。

まずは、緑苑中にお住いの水谷彰さん(91歳)を紹介します。



▲ご夫婦お元気で

仕事の関係で転勤も多く、昭和51年に北九州から岩倉に転居した時、散歩がてら来たこの緑苑の環境を気に入り、たまたま空いた住宅を購入し住む事になりました。

代講師により健康体操を指導していただき、続いて、蔓延している悪質商法から消費者に注意を喚起するため、「寸劇グループつくしんぼ」による寸劇が披露され、高齢の独居者を、被害者と悪徳業者などに扮して面白おかしく演じていただきました。

文代講師により健康体操を指導していただき、続いて、蔓延している悪質商法から消費者に注意を喚起するため、「寸劇グループつくしんぼ」による寸劇が披露され、高齢の独居者を、被害者と悪徳業者などに扮して面白おかしく演じていただきました。

文代講師により健康体操を指導していただき、続いて、蔓延している悪質商法から消費者に注意を喚起するため、「寸劇グループつくしんぼ」による寸劇が披露され、高齢の独居者を、被害者と悪徳業者などに扮して面白おかしく演じていただきました。